

## 基本計画書

基本計画書									
事項	記入欄						備考		
計画の区分	研究科の専攻に係る課程の変更								
フリガナ設置者	コクリツダイガクホウジンワカヤマダイガク 国立大学法人和歌山大学								
フリガナ大学の名称	ワカヤマダイガクダイガクイン 和歌山大学大学院 (Graduate School of Wakayama University)								
大学本部の位置	和歌山県和歌山市栄谷930番地								
大学の目的	<p>和歌山大学は、県内唯一の国立総合大学として「地域を支え、地域に支えられる大学」であるとともに、持続可能な社会の実現に寄与する。</p> <p>大学院教育においては高度な理論と実践力を修得させるとともに、時代と社会への深い知性・認識と他者とともに問題解決に取り組む人間関係を培うことを重視する。</p> <p>研究においては、紀伊半島を含む黒潮文化圏という歴史、自然、経済、文化を活かした研究活動によって創造された知見を活かし、地域から日本と世界の発展に寄与する。</p> <p>また、教員・職員・学生相互の信頼関係のもとでの協働と参画を通じて、「自主・自律・共生の気風にあふれる大学」であることを目指す。</p>								
新設学部等の目的	<p>21世紀は、観光の時代であり、世界の多くの国において観光が基幹産業の一つになりつつある。また、日本の国家政策としても観光が今世紀の重要戦略に位置づけられている。本研究科は、わが国における観光教育研究を世界水準へ高度化・国際化させ、深い専門性と同時に学際的（“interdisciplinary”）な学識を持ち、包括的な対応力（“generic skill”）を備えた高度学術的イノベーターの養成を目指す。</p>								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	<p>【基礎となる学部等】</p> <p>観光学部 観光経営学科 地域再生学科</p> <p>14条特例の実施</p>
	観光学研究科 [Graduate School of Tourism] 観光学専攻 [Course Specializing in Tourism] (博士後期課程) [[Doctoral Programs]] 計	年	人	年次人	人	博士 (観光学)	平成26年4月 第1年次	和歌山県和歌山市 栄谷930番地	
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	<p>【入学定員変更】</p> <p>平成26年4月 大学院経済学研究科修士課程 [定員減] (△4) 大学院観光学研究科修士課程 [定員増] (○4)</p>								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		14単位	
	観光学研究科 観光学専攻 (博士後期課程)	講義	演習	実習	計				
		0科目	2科目	0科目	2科目				

	学部等の名称	専任教員等						兼任 教員			
		教授	准教授	講師	助教	計	助手				
教 員 組 織 の 概 要	新 設 分	観光学研究科 観光学専攻（博士後期課程）	14 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	— (—)	0 (0)	博士課程の内数	
		計	14 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	— (—)	0 (0)		
	既 設 分	教育学研究科 学校教育専攻（修士課程）	10 (10)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	16 (16)	— (—)	7 (7)		博士前期課程の内数
		教科教育専攻（修士課程）	46 (46)	27 (27)	3 (3)	0 (0)	76 (76)	— (—)	0 (0)		
		経済学研究科 経済学専攻（修士課程）	11 (11)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	22 (22)	— (—)	0 (0)		
		経営学専攻（修士課程）	6 (6)	13 (13)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	— (—)	1 (1)		
		市場環境学専攻（修士課程）	9 (9)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	— (—)	1 (1)		
		システム工学研究科 システム工学専攻（博士前期課程）	35 (35)	30 (30)	6 (6)	11 (11)	82 (82)	— (—)	3 (3)		
		システム工学専攻（博士後期課程）	33 (33)	28 (28)	6 (6)	10 (10)	77 (77)	— (—)	0 (0)		
		観光学研究科 観光学専攻（修士課程）	15 (15)	8 (8)	1 (1)	0 (0)	24 (24)	— (—)	2 (2)		
計		132 (132)	105 (105)	10 (10)	11 (11)	258 (258)	— (—)	14 (14)			
合 計		146 (146)	105 (105)	10 (10)	11 (11)	272 (272)	— (—)	14 (14)			
教 員 以 外 の 職 員 の 概 要	職 種		専 任		兼 任		計				
	事 務 職 員		118 (118)		0 (0)		118 (118)				
	技 術 職 員		22 (22)		0 (0)		22 (22)				
	図 書 館 専 門 職 員		1 (1)		0 (0)		1 (1)				
	そ の 他 の 職 員		2 (2)		0 (0)		2 (2)				
計		143 (143)		0 (0)		143 (143)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計					
	校 舎 敷 地	140,101 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		140,101 m <sup>2</sup>					
	運 動 場 用 地	44,480 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		44,480 m <sup>2</sup>					
	小 計	184,581 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		184,581 m <sup>2</sup>					
	合 計	414,588 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>		414,588 m <sup>2</sup>					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計					
		76,776 m <sup>2</sup> ( 76,776 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )		76,776 m <sup>2</sup> ( 76,776 m <sup>2</sup> )					
教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設		語学学習施設		大学全体			
	51 室	43 室	101 室	8 室 (補助職員 0人)		1 室 (補助職員 0人)					
専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				研究科全体			
		観光学研究科		26 室							

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	観光学研究科	758,724 [209,681] (739,440 [205,703])	7,141 [2,285] (7,072 [2,267])	1,846 [1,839] (1,714 [1,707])	9,214 (8,749)	0 (0)	0 (0)		
	計	758,724 [209,681] (739,440 [205,703])	7,141 [2,285] (7,072 [2,267])	1,846 [1,839] (1,714 [1,707])	9,214 (8,749)	0 (0)	0 (0)		
図書館	面積	8,043 m <sup>2</sup>		閲覧座席数	717		収納可能冊数	854,444	
	体育館	面積	3,263 m <sup>2</sup>		体育館以外のスポーツ施設の概要				
			陸上競技場1面		テニスコート14面				
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	教員1人当り研究費等	—	—	—	—	—	—	—	
	共同研究費等	—	—	—	—	—	—	—	
	図書購入費	—	—	—	—	—	—	—	
	設備購入費	—	—	—	—	—	—	—	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	—	—	—	—	—	—	—		
学生納付金以外の維持方法の概要		—							
既設大学の状況	大学の名称	和歌山大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	教育学部	年	人	年次人	人		倍		
	学校教育教員養成課程	4	145	—	580	学士(教育学)	1.06	昭和24年度	和歌山市栄谷930
	総合教育課程	4	40	—	160	学士(教養学)	1.12	平成11年度	
	国際文化課程	4	—	—	—	学士(教養学)	—	平成20年度	平成20年より学生募集停止
	経済学部		330	10	1340		1.03	平成11年度	
	経済学科	4	110	4	448	学士(経済学)	1.03	昭和24年度	和歌山市栄谷930
	ビジネスマネジメント学科	4	110	4	448	学士(経済学)		昭和39年度	
	市場環境学科	4	110	2	444	学士(経済学)		平成4年度	
	夜間主コース	4	—	—	—	学士(経済学)		平成8年度	平成19年より学生募集停止
	システム工学部		285	3年次	1180		1.05	平成4年度	
	情報通信システム学科	4	57	20	228	学士(工学)	1.06	平成7年度	和歌山市栄谷930
	光エレクトロニクス学科	4	57		228	学士(工学)	1.05	平成7年度	
	精密物質学科	4	57		228	学士(工学)	1.06	平成7年度	
環境システム学科	4	57	228		学士(工学)	1.05	平成7年度		
デザイン情報学科	4	57	228		学士(工学)	1.03	平成7年度		
観光学部		110	—	440		1.06	平成20年度	和歌山市栄谷930	
観光経営学科	4	60	—	240	学士(観光学)	1.06	平成20年度		
地域再生学科	4	50	—	200	学士(観光学)		平成20年度		
教育学研究科(修士課程)		45	—	90		1.18	平成20年度	和歌山市栄谷930	
学校教育専攻	2	12	—	24	修士(教育学)	1.91	平成5年度		
教科教育専攻	2	33	—	66	修士(教育学)	0.92	平成5年度		

既 設 大 学 等 の 状 況	経済学研究科 (修士課程)		42		84		0.92	昭和41年度	和歌山市栄谷930
	経済学専攻	2	19	—	38	修士(経済学)	0.70	昭和43年度	
	経営学専攻	2	13	—	26	修士(経済学)	1.03	昭和43年度	
	市場環境学専攻	2	10	—	20	修士(経済学)	1.20	平成11年度	
	システム工学研究科 (博士前期課程)		137	—	282		1.04	平成12年度	和歌山市栄谷930
	システム工学専攻 (博士後期課程)	2	129	—	258	修士(工学)	1.04	平成12年度	
	システム工学専攻	3	8	—	24	博士(工学)	1.16	平成14年度	
	観光学研究科 (修士課程)		5	—	10		1.90	平成23年度	和歌山市栄谷930
	観光学専攻	2	5	—	10	修士(観光学)	1.90	平成23年度	
	特別支援教育特別専攻科		10	—	10		1.10	平成9年度	和歌山市栄谷930
	発達障害教育専攻	1	10	—	10	—	1.10	平成9年度	
附属施設の概要	該当なし								

## 国立大学法人和歌山大学 設置認可等に関わる組織の移行表

平成25年度		入学 定員	編入学 定員	収容 定員	平成26年度		入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
<b>和歌山大学</b>										
教育学部	学校教育教員養成課程	145	-	580	教育学部	学校教育教員養成課程	145	-	580	
教育学部	総合教育課程	40	-	160	教育学部	総合教育課程	40	-	160	
経済学部	経済学科	110	3年次 4	448	経済学部	経済学科	110	3年次 4	448	
経済学部	ビジネスマネジメント学科	110	3年次 4	448	経済学部	ビジネスマネジメント学科	110	3年次 4	448	
経済学部	市場環境学科	110	3年次 2	444	経済学部	市場環境学科	110	3年次 2	444	
システム工学部	情報通信システム学科	57	3年次 20	236	システム工学部	情報通信システム学科	57	3年次 20	236	
システム工学部	光メカトロニクス学科	57		236	システム工学部	光メカトロニクス学科	57		236	
システム工学部	精密物質学科	57		236	システム工学部	精密物質学科	57		236	
システム工学部	環境システム学科	57		236	システム工学部	環境システム学科	57		236	
システム工学部	デザイン情報学科	57		236	システム工学部	デザイン情報学科	57		236	
観光学部	観光経営学科	60		-	240	観光学部	観光経営学科		60	-
観光学部	地域再生学科	50	-	200	観光学部	地域再生学科	50	-	200	
計		910	30	3,700	計		910	30	3,700	
特別支援教育特別専攻科 発達障害教育専攻										
		10	-	10			10	-	10	
計		10		10	計		10		10	
<b>和歌山大学大学院</b>										
教育学研究科	学校教育専攻(M)	12	-	24	教育学研究科	学校教育専攻(M)	12	-	24	
教育学研究科	教科教育専攻(M)	33	-	66	教育学研究科	教科教育専攻(M)	33	-	66	
経済学研究科	経済学専攻(M)	19	-	38	経済学研究科	経済学専攻(M)	<u>15</u>	-	<u>30</u>	定員変更
経済学研究科	経営学専攻(M)	13	-	26	経済学研究科	経営学専攻(M)	13	-	26	
経済学研究科	市場環境学専攻(M)	10	-	20	経済学研究科	市場環境学専攻(M)	10	-	20	
システム工学研究科	システム工学専攻(M)	129	-	258	システム工学研究科	システム工学専攻(M)	129	-	258	
システム工学研究科	システム工学専攻(D)	8	-	24	システム工学研究科	システム工学専攻(D)	8	-	24	
観光学研究科	観光学専攻(M)	5	-	10	観光学研究科	観光学専攻(M)	<u>9</u>	-	<u>18</u>	定員変更
計		229		466	観光学研究科	観光学専攻(D)	6	-	18	博士課程設置
計		235		484	計		235		484	

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要															
(観光学研究科観光学専攻博士後期課程)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
授 業 科 目	観光学研究方法論演習	1前	2				○		10						オムニバス・ 共同（一部）
	小計（1科目）	—	2	0	0	—			10	0	0	0	0		
研 究 指 導 科 目	特別研究	1～3通	12				○		14						
	小計（1科目）	—	12	0	0	—			14	0	0	0	0		
合計（2科目）		—	14	0	0	—			14	0	0	0	0		
学位又は称号		博士（観光学）		学位又は学科の分野				社会学・社会福祉学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
3年以上在学し、14単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格することを修了要件とする。								1学年の学期区分			2期				
								1学期の授業期間			15週				
								1時限の授業時間			90分				

別記様式第2号（その2の1）

教育課程等の概要															
(観光学研究科観光学専攻修士課程)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	観光学総論	1前			2	○								兼1	集中
	観光学研究方法論	1前	2			○			6						オムニバス
	小計（2科目）	—	2	0	2	—			6	0	0	0	0	兼1	
基盤科目	観光フィールドワーク特論	1・2後		2			○				1				
	観光英語特論	1・2前		2		○				1					
	観光情報処理特論	1・2前		2		○			1						
	観光統計特論	1・2前		2		○				1					
	社会調査方法特論	1・2前		2			○							兼1	
特論科目 応用科目	経営人類学特論	1・2前		2		○			1						
	企業会計特論	1・2前		2		○			1						
	観光人材特論	1・2前		2		○			1						
	観光産業特論	1・2後		2		○			1						
	マーケティング特論	1・2前		2		○				1					
	サービスマネジメント特論	1・2前		2		○				1					
	観光戦略特論	1・2前		2		○				1					
	現代経済特論	1・2後		2		○			1						
	都市マネジメント特論	1・2後		2		○								兼1	
	観光まちづくり特論	1・2前		2		○					1			兼1	集中
	地域空間政策特論	1・2後		2		○			1						
	居住空間政策特論	1・2後		2		○			1						
	森林空間政策特論	1・2前		2		○				1					
	都市農村交流特論	1・2前		2		○			1						
	地域再生法制特論	1・2後		2		○				1					
	紀州学特論	1・2後		2		○								兼1	
	観光環境文化特論	1・2後		2		○			1						
	観光空間文化特論	1・2前		2		○			1						
	音楽文化創造特論	1・2前		2		○			1						
	観光デザイン特論	1・2前		2		○			1						
異文化交流特論	1・2前		2		○			1							
宇宙観光特論	1・2前		2		○			1							
地球観光特論	1・2前		2		○				1						
小計（28科目）	—	—	0	56	0	—			15	8	1	0	0	兼4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
実践科目	インターンシップA	1・2前後		1				○	1						集中
	インターンシップB	1・2前後		2				○	1						集中
	小計 ( 2 科目 )		0	3	0	—			1	0	0	0	0		
専門研究	専門研究Ⅰ	1後	2					○	15	8	1				
	専門演習Ⅱ	2通	4					○	15	8	1				
	小計 ( 2 科目 )	—	6	0	0	—			15	8	1	0	0		
合計 ( 34 科目 )		—	8	59	2	—			15	8	1	0	0	兼 5	
学位又は称号		修士 (観光学)		学位又は学科の分野			社会学・社会福祉学関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
基礎科目2単位以上、特論科目及び実践科目から22単位以上、専門研究必修6単位の合計30単位以上を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。								1学年の学期区分			2期				
								1学期の授業期間			15週				
								1時限の授業時間			90分				



別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要															
(観光学部観光経営学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
基礎 科目	観光概論	1前	2											兼 1	
	基礎演習	1前	2						1	2	1			兼 5	
	情報基礎演習	1後	2							1	1			兼 1	
	華道論	1前・後		2										兼 1	
	着物文化論	1前		2										兼 1	
	茶道論A	1前		2										兼 1	
	茶道論B	1後		2										兼 2	
	日本語作法	1後		2										兼 1	
	経営学	1前		2										兼 1	
	観光人材とキャリアデザイン	2後		2										兼 1	
小計 ( 10 科目 )	—	6	14	0	—			1	3	1	0	0	兼 13		
基礎 教育 科目	企業と会計	1・2・3・4前		2		○								兼 1	
	経済学の考え方	1・2・3・4前		2		○								兼 1	
	言語学入門	1・2・3・4後		2		○								兼 1	
	国際化時代の文化と思想	1・2・3・4後		2		○								兼 9	
	自主演習	1・2前後		1			○								
	自主創造体験演習	1・2後		1			○							兼 2	
	社会科学方法論	1・2・3・4前		2		○								兼 1	
	数学A I	1・2・3・4前		2		○								兼 1	
	数学A II	1・2・3・4後		2		○								兼 1	
	数学B	1・2・3・4前		2		○								兼 1	
	哲学A	1・2・3・4前		2		○								兼 1	
	哲学B	1・2・3・4後		2		○								兼 1	
	宇宙科学	1・2・3・4後		2		○								兼 2	
	音楽学	1・2・3・4前		2		○								兼 1	
	化学入門	1・2・3・4前		2		○								兼 1	
	教養のための自然科学	1・2・3・4前		2		○								兼 4	
	地学	1・2・3・4前		2		○								兼 1	
	みんなの科学入門	1・2・3・4前		2		○								兼 2	
	自然環境学	1・2・3・4後		2		○								兼 1	
	食と健康	1・2・3・4前		2		○								兼 1	
生物学	1・2・3・4後		2		○								兼 1		
農村の仕事と技術の魅力	1・2・3・4前		2		○								兼 1	集中	

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎 教育 科目	ファッション文化論A	1・2・3・4後		2		○									兼1
	保全生物学	1・2・3・4前		2		○									兼1
	英語史入門	1・2・3・4前		2		○									兼1
	外国文学	1・2・3・4前		2		○									兼3
	観光と色彩	1・2・3・4前		2		○	○								兼1
	記憶力と認知力	1・2・3・4後		2			○								兼1
	現代日本の表現	1・2・3・4前		2		○									兼1
	ことばと文化	1・2・3・4後		2		○									兼1
	ジェロントロジースポーツ	1・2・3・4後		2		○									兼1
	心理学A	1・2・3・4前		2		○									兼1
	心理学B	1・2・3・4後		2		○									兼1
	デザイン情報学入門	1・2・3・4前		2		○									兼3
	デザインのある生活	1・2・3・4前		2		○									兼8
	日本古典文学入門	1・2・3・4前		2		○									兼1
	美術史	1・2・3・4前		2		○									兼1
	JAPAN STUDY1	1・2・3・4前		2		○									兼1
	JAPAN STUDY2	1・2・3・4後		2		○									兼1
	Survey of Pre-Modern Japanese Poetry in Translation	1・2・3・4前		2		○									兼1
	Survey of Pre-Modern Japanese Prose in Translation	1・2・3・4後		2		○									兼1
	援助をめぐる国際関係	1・2・3・4前		2		○									兼1
	観光学基礎	1・2・3・4後		2		○									兼1
	現代の経済	1・2・3・4後		2		○	○								兼1
	国際開発～学びと現場～	1・2・3・4後		2		○	○								兼1
	人文地理学	1・2・3・4前		2		○									兼1
	世界史の中の日本	1・2・3・4後		2		○									兼1
	世界の観光・日本の観光	1・2・3・4前		2		○									兼1
	戦争と平和の歴史学	1・2・3・4前		2		○									兼1
	日本の文化と国際交流	1・2・3・4前		2		○									兼1
	Managing across borders and cultures	1・2・3・4前		2		○									兼1
	歴史学	1・2・3・4前		2		○									兼1
	企業と社会の経営学	1・2・3・4後		2		○									兼1
	企業の仕組み	1・2・3・4前		2		○				1					
景観論入門	1・2・3・4後		2		○									兼1	
現代の観光	1・2・3・4後		2		○									兼1	
社会環境学	1・2・3・4前		2		○									兼3	
社会哲学	1・2・3・4前		2		○	○								兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎 教育 科目	生活科学	1・2・3・4前		2		○									兼 1	
	生活の中の情報システム	1・2・3・4後		2		○									兼 10	
	地域環境・自然エネルギー革命	1・2・3・4後		2		○									兼 1	
	地域づくり概論	1・2・3・4前		2		○					1					
	地域における博物館活動と図書館活動	1・2・3・4前		2		○									兼 2	
	日本国憲法	1・2・3・4前		2		○									兼 1	
	「教養の森」ゼミナール2	1・2・3・4前		2			○								兼 5	
	「教養の森」ゼミナール3	1・2・3・4後		2			○								兼 5	
	21世紀宗教学	1・2・3・4前		2		○									兼 1	
	21世紀倫理学	1・2・3・4後		2		○									兼 3	
	観光と地域の活性	1・2・3・4前		2		○									兼 1	
	紀州・和菓子文化論	1・2・3・4前		2		○									兼 1	
	紀州郷土学A	1・2・3・4前		2		○				1					兼 4	
	紀州郷土学B	1・2・3・4後		2		○									兼 6	
	熊野古道と世界遺産	1・2・3・4後		2		○									兼 1	
	わかやま海洋環境体験実習	1・2・3・4後		2			○	○							兼 2	集中
	和歌山の歴史と文化	1・2・3・4後		2		○									兼 1	
	わかやまを学ぶ	1・2・3・4前		2		○									兼 6	
	NPO人材育成論	1・2・3・4後		2		○									兼 1	
	キャリアデザイン入門	1・2・3・4前		2		○									兼 4	
	女性起業論	1・2・3・4前		2		○									兼 1	
	進路と職業	1・2・3・4後		2		○	○								兼 2	
	リーダーシップ・チームワーク実習	1・2・3・4後		2			○	○							兼 1	集中
	和歌山企業トップ経営論	1・2・3・4後		2		○									兼 2	
	学生生活の危機管理	1・2・3・4前		2			○	○							兼 2	
	教育学A	1・2・3・4前		2		○									兼 1	
	教育学B	1・2・3・4後		2		○									兼 1	
	ジェンダー論	1・2・3・4後		2		○									兼 1	
	地域暮らしの安全学	1・2・3・4後		2		○									兼 6	
	海外語学・社会演習A	1・2・3・4前		2		○	○								兼 2	集中
海外語学・社会演習B	1・2・3・4後		2		○	○								兼 1	集中	
海外語学・社会演習C	1・2・3・4前		2		○	○	○							兼 2	集中	
海外語学・社会演習D	1・2・3・4前		1		○	○								兼 1	集中	
海外留学入門	1・2・3・4前		2			○								兼 1		
外国語としての日本語を学ぶ	1・2・3・4後		2		○									兼 1		
大学生の読み書き I	1・2・3・4前		2		○	○								兼 1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	大学生の読み書きⅡ	1・2・3・4後		2		○									兼 1
	情報科学入門	1・2・3・4後		2		○									兼 9
	情報通信システムのしくみ	1・2・3・4前		2		○									兼 8
	図書館活用法	1・2・3・4前		2		○	○								兼 1
	身の回りの化学	1・2・3・4前		2		○									兼 7
	身の回りの先端材料技術	1・2・3・4後		2		○									兼 8
	身の回りのデジタル機器のしくみ	1・2・3・4後		2		○									兼 7
	身の回りのメカトロニクス機器のしくみ	1・2・3・4前		2		○									兼 6
	健康とスポーツの科学	1・2・3・4前		2		○									兼 1
	保健体育実技C	1・2・3・4前		1				○							兼 1
	保健体育実技D	1・2・3・4後		1				○							兼 1
小計 ( 105 科目 )	—	0	205	0	—	—	—	2	0	1	0	0	兼 152		
基礎教育科目	英語Ⅰ	1前	2				○								兼 3
	英語Ⅱ	1後	2				○								兼 3
	英語Ⅲ	2前	2				○								兼 2
	英語Ⅳ	2後	2				○								兼 2
	英語中級A	2前	2				○								兼 2
	英語中級B	2後	2				○								兼 2
	英語中級C	2前	2				○								兼 1
	英語中級D	2後	2				○								兼 1
	ドイツ語Ⅰ	1前・後	4				○								兼 3
	ドイツ語Ⅱ	1前・後	4				○								兼 2
	ドイツ語中級A	2前	2				○								兼 1
	ドイツ語中級B	2前	2				○								兼 1
	ドイツ語中級C	2後	2				○								兼 1
	ドイツ語中級D	2後	2				○								兼 1
	フランス語Ⅰ	1前・後	4				○								兼 2
	フランス語Ⅱ	1前・後	4				○								兼 2
	フランス語Ⅲ	2後	2				○								兼 1
	中国語Ⅰ	1前	4				○								兼 1
	中国語Ⅱ	1前・後	4				○								兼 1
	ハングルⅠ	1前・後	4				○								兼 1
ハングルⅡ	1前・後	4				○								兼 3	
小計 ( 21 科目 )	—	8	50	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼 16		
	観光経営概論	1後	2			○			1						
	地域再生概論	1後	2			○									兼 1

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	観光関連法規	1・2・3・4後		2		○			1						兼1	
	観光統計	2・3・4後		2		○				1						
	日本観光事情	1・2・3・4後		2		○			1							
	世界観光事情	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	観光調査法	2・3・4前		2		○									兼1	
	商業簿記	1・2・3・4後		2		○			1							
	マーケティング論	1・2・3・4後		2		○				1						
	ホスピタリティマネジメント	1・2・3・4後		2		○				1						
	経営学総論	1・2・3・4後		2		○			1							
	小計 ( 11 科目 )	—		4	18	0	—			4	3	0	0	0	兼4	
専門教育科目	コース演習 (観光コンテンツ)	2前		2			○								兼1	
	コース演習 (観光文化)	2前		2			○								兼1	
	コース演習 (観光マーケティング)	2前		2			○			1						
	コース演習 (観光まちづくり)	2前		2			○								兼1	
	コース演習 (観光マネジメント)	2前		2			○		1							
	観光キャリア・デザインⅠ	3・4前		2		○									兼1	
	観光キャリア・デザインⅡ	3・4後		2		○									兼1	
	外国語文献講読[英語]A	2・3・4後		2			○								兼1	
	外国語文献講読[英語]B	2・3・4後		2			○		1							
	外国語文献講読[英語]C	2・3・4前		2			○								兼1	
	外国語文献講読[英語]F	2・3・4前		2			○								兼1	
	外国語文献講読[独語]	2・3・4前		2			○		1							
	外国語文献講読[仏語]	2・3・4前		2			○		1							
	公務員・観光事業のための一般法(行政法・民法)	2・3・4後		2		○			1						兼1	
	飯田フィールドワーク	1・2・3・4前		2		○			1						兼1	
	観光カリスマ論	1・2・3・4後		2		○			1						兼1	
	行政作用法	3・4後		2		○									兼1	
	行政法総論	2・3・4前		2		○									兼1	
	民法〔総則〕	2・3・4後		2		○									兼1	
	民法〔債権総論〕	3・4前		2		○									兼1	
	民法〔債権各論〕	3・4前		2		○									兼1	
	観光ガイド論	3・4前		2		○									兼1	
観光史	2・3・4前		2		○									兼1	集中	
観光韓国語	3・4後		2		○									兼1	集中	
観光中国語	3・4前		2		○									兼1		
地域観光実習A	1・2・3・4通		1				○								集中	
地域観光実習B	1・2・3・4通		2				○								集中	

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 教育 科目	専門 基幹 科目	地域観光実習C		4				○							集中	
		地域観光実習D		6				○							集中	
		海外観光調査実習(クイーンズランド)		2					○						集中	
		海外観光調査実習(オックスフォード)		2					○						集中	
		観光学部インターンシップA		1					○	1					集中	
		観光学部インターンシップB		2					○	1					集中	
		観光学部インターンシップC		4					○	1					集中	
		観光学部インターンシップD		6					○	1					集中	
		観光学部インターンシップE		8					○	1					集中	
		観光学部自主演習C	2前	1					○							
		観光学部自主演習D	2後	1					○							
		観光学部自主演習E	3前	1					○							
		観光学部自主演習F	3後	1					○							
		観光学部自主演習G	4前	1					○							
		観光学部自主演習H	4後	1					○							
	観光経済学	3・4後	2				○				1					
	観光リスクマネジメント	2・3・4前	2				○				1					
	アカウンティング	2・3・4前	2				○			1						
	企業税務	3・4後	2				○			1						
	消費者心理学	3・4前	2				○				1					
	ブランド論	3・4後	2				○				1					
	観光と医療	2・3・4前	2				○				1					
	ヒューマンサービスマネジメント	2・3・4後	2				○				1					
	観光戦略論	2・3・4前	2				○				1					
	意思決定論	2・3・4後	2				○				1					
	リーダーシップ論	2・3・4前	2				○				1					
	観光地マネジメント論	2・3・4前	2				○			1						
	経営人類学	2・3・4前	2				○			1						
	観光行動論	2・3・4後	2				○			1						
	国際観光経営	2・3・4前	2				○			1						
	証券市場論	3・4前	2				○			1						
	金融システム論	3・4後	2				○			1						
	現代経済事情	3・4前	2				○			1						
旅行事業論	3・4前	2				○			1							
社会保険関係法	3・4後	2				○								兼1		
商法〔会社法Ⅰ〕	3・4前	2				○								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	経営行動	3・4前		2		○									兼 1
	人的資源管理論Ⅱ	3・4後		2		○									兼 1
	経営組織論Ⅱ	3・4前		2		○									兼 1
	企業倫理論	3・4前		2		○									兼 1
	日本の経営論	3・4後		2		○									兼 1
	航空産業論	3・4前		2		○									兼 1
	宿泊産業概論	3・4前		2		○									兼 1
	商品企画論	3・4後		2		○									兼 1
	サービス・マーケティング	3・4前		2		○									兼 1
	マーケティング・リサーチ	2・3・4前		2		○									兼 1
	小計 ( 73 科目 )	—	0	156	0	—			5	4	0	0	0	兼 21	
卒業論文・ 専門演習	専門演習Ⅰ	2後	2			○		5	4	1					
	専門演習Ⅱ	3通	4			○		5	4	1					
	卒業論文	4通	4			○		5	4	1					
	小計 ( 3 科目 )	—	10	0	0	—		5	4	1	0	0	兼 0		
合計 ( 223 科目 )	—	28	443	0	—		5	4	1	0	0	兼 188			
学位又は称号	学士 (観光学)	学位又は学科の分野				経済学関係									
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
<b>基礎教養科目</b>	<b>44単位</b>					1学年の学期区分		2		期					
教養科目・基礎科目	28単位					1学期の授業期間		15		週					
外国語	16単位					1時限の授業時間		90		分					
<b>専門教育科目</b>	<b>80単位</b>														
専門基礎科目	14単位														
専門基幹科目	28単位選択必修														
専門基礎・基幹科目	28単位選択必修														
専門演習・卒業論文	10単位														
<b>合計</b>	<b>124単位</b>														

## 別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要															
(観光学部地域再生学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
基礎 科目	観光概論	1前	2						1						
	基礎演習	1前	2						3	2					兼 4
	情報基礎演習	1後	2						1						兼 2
	華道論	1前・後		2											兼 1
	着物文化論	1前		2											兼 1
	茶道論A	1前		2											兼 1
	茶道論B	1後		2											兼 2
	日本語作法	1後		2											兼 1
	経営学	1前		2											兼 1
	観光人材とキャリアデザイン	2後		2											兼 1
小計 ( 10 科目 )	—	—	6	14	0	—			4	2	0	0	0	兼 12	
基礎 教育 科目	企業と会計	1・2・3・4前		2			○								兼 1
	経済学の考え方	1・2・3・4前		2			○								兼 1
	言語学入門	1・2・3・4後		2			○								兼 1
	国際化時代の文化と思想	1・2・3・4後		2			○								兼 9
	自主演習	1・2前後		1				○							
	自主創造体験演習	1・2後		1					○	1					兼 1
	社会科学方法論	1・2・3・4前		2			○								兼 1
	数学A I	1・2・3・4前		2			○								兼 1
	数学A II	1・2・3・4後		2			○								兼 1
	数学B	1・2・3・4前		2			○								兼 1
	哲学A	1・2・3・4前		2			○								兼 1
	哲学B	1・2・3・4後		2			○								兼 1
	宇宙科学	1・2・3・4後		2			○								兼 2
	音楽学	1・2・3・4前		2			○								兼 1
	化学入門	1・2・3・4前		2			○								兼 1
	教養のための自然科学	1・2・3・4前		2			○								兼 4
	地学	1・2・3・4前		2			○								兼 1
	みんなの科学入門	1・2・3・4前		2			○								兼 2
	自然環境学	1・2・3・4後		2			○								兼 1
	食と健康	1・2・3・4前		2			○								兼 1
生物学	1・2・3・4後		2			○								兼 1	
農村の仕事と技術の魅力	1・2・3・4前		2			○								兼 1 集中	



科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎 教育 科目	ファッション文化論A	1・2・3・4後		2		○									兼1
	保全生物学	1・2・3・4前		2		○									兼1
	英語史入門	1・2・3・4前		2		○									兼1
	外国文学	1・2・3・4前		2		○									兼3
	観光と色彩	1・2・3・4前		2		○	○		1						
	記憶力と認知力	1・2・3・4後		2			○								兼1
	現代日本の表現	1・2・3・4前		2		○									兼1
	ことばと文化	1・2・3・4後		2		○			1						
	ジェロントロジースポーツ	1・2・3・4後		2		○									兼1
	心理学A	1・2・3・4前		2		○									兼1
	心理学B	1・2・3・4後		2		○									兼1
	デザイン情報学入門	1・2・3・4前		2		○									兼3
	デザインのある生活	1・2・3・4前		2		○									兼8
	日本古典文学入門	1・2・3・4前		2		○									兼1
	美術史	1・2・3・4前		2		○									兼1
	JAPAN STUDY1	1・2・3・4前		2		○									兼1
	JAPAN STUDY2	1・2・3・4後		2		○									兼1
	Survey of Pre-Modern Japanese Poetry in Translation	1・2・3・4前		2		○									兼1
	Survey of Pre-Modern Japanese Prose in Translation	1・2・3・4後		2		○									兼1
	援助をめぐる国際関係	1・2・3・4前		2		○									兼1
	観光学基礎	1・2・3・4後		2		○									兼1
	現代の経済	1・2・3・4後		2		○	○								兼1
	国際開発～学びと現場～	1・2・3・4後		2		○	○								兼1
	人文地理学	1・2・3・4前		2		○									兼1
	世界史の中の日本	1・2・3・4後		2		○									兼1
	世界の観光・日本の観光	1・2・3・4前		2		○									兼1
	戦争と平和の歴史学	1・2・3・4前		2		○									兼1
	日本の文化と国際交流	1・2・3・4前		2		○				1					
	Managing across borders and cultures	1・2・3・4前		2		○									兼1
	歴史学	1・2・3・4前		2		○									兼1
	企業と社会の経営学	1・2・3・4後		2		○									兼1
	企業の仕組み	1・2・3・4前		2		○									兼1
	景観論入門	1・2・3・4後		2		○									兼1
現代の観光	1・2・3・4後		2		○									兼1	
社会環境学	1・2・3・4前		2		○									兼3	
社会哲学	1・2・3・4前		2		○	○								兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎 教育 科目	生活科学	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	生活の中の情報システム	1・2・3・4後		2		○									兼10	
	地域環境・自然エネルギー革命	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	地域づくり概論	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	地域における博物館活動と図書館活動	1・2・3・4前		2		○									兼2	
	日本国憲法	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	「教養の森」ゼミナール2	1・2・3・4前		2			○			1					兼4	
	「教養の森」ゼミナール3	1・2・3・4後		2			○			1					兼4	
	21世紀宗教学	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	21世紀倫理学	1・2・3・4後		2		○									兼3	
	観光と地域の活性	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	紀州・和菓子文化論	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	紀州郷土学A	1・2・3・4前		2		○				1					兼4	
	紀州郷土学B	1・2・3・4後		2		○				1					兼5	
	熊野古道と世界遺産	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	わかやま海洋環境体験実習	1・2・3・4後		2			○	○							兼2	集中
	和歌山の歴史と文化	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	わかやまを学ぶ	1・2・3・4前		2		○				1					兼5	
	NPO人材育成論	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	キャリアデザイン入門	1・2・3・4前		2		○									兼4	
	女性起業論	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	進路と職業	1・2・3・4後		2		○	○								兼2	
	リーダーシップ・チームワーク実習	1・2・3・4後		2			○	○							兼1	集中
	和歌山企業トップ経営論	1・2・3・4後		2		○									兼2	
	学生生活の危機管理	1・2・3・4前		2			○	○							兼2	
	教育学A	1・2・3・4前		2		○									兼1	
	教育学B	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	ジェンダー論	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	地域暮らしの安全学	1・2・3・4後		2		○									兼6	
	海外語学・社会演習A	1・2・3・4前		2		○	○								兼2	集中
	海外語学・社会演習B	1・2・3・4後		2		○	○								兼1	集中
	海外語学・社会演習C	1・2・3・4前		2		○	○	○							兼2	集中
海外語学・社会演習D	1・2・3・4前		1		○	○								兼1	集中	
海外留学入門	1・2・3・4前		2			○								兼1		
外国語としての日本語を学ぶ	1・2・3・4後		2		○									兼1		
大学生の読み書き I	1・2・3・4前		2		○	○								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	大学生の読み書きⅡ	1・2・3・4後		2		○									兼1
	情報科学入門	1・2・3・4後		2		○									兼9
	情報通信システムのしくみ	1・2・3・4前		2		○									兼8
	図書館活用法	1・2・3・4前		2		○	○								兼1
	身の回りの化学	1・2・3・4前		2		○									兼7
	身の回りの先端材料技術	1・2・3・4後		2		○									兼8
	身の回りのデジタル機器のしくみ	1・2・3・4後		2		○									兼7
	身の回りのメカトロニクス機器のしくみ	1・2・3・4前		2		○									兼6
	健康とスポーツの科学	1・2・3・4前		2		○									兼1
	保健体育実技C	1・2・3・5前		1					○						兼1
	保健体育実技D	1・2・3・4後		1					○						兼1
小計 ( 105 科目 )	—	0	205	0	—	—	—	3	2	0	0	0	兼150		
基礎教育科目	英語Ⅰ	1前	2				○		1						兼2
	英語Ⅱ	1後	2				○		1						兼2
	英語Ⅲ	2前	2				○								兼2
	英語Ⅳ	2後	2				○								兼2
	英語中級A	2前	2				○			1					兼1
	英語中級B	2後	2				○			1					兼1
	英語中級C	2前	2				○								兼1
	英語中級D	2後	2				○								兼1
	ドイツ語Ⅰ	1前・後	4				○								兼3
	ドイツ語Ⅱ	1前・後	4				○								兼2
	ドイツ語中級A	2前	2				○								兼1
	ドイツ語中級B	2前	2				○								兼1
	ドイツ語中級C	2後	2				○								兼1
	ドイツ語中級D	2後	2				○								兼1
	フランス語Ⅰ	1前・後	4				○								兼2
	フランス語Ⅱ	1前・後	4				○								兼2
	フランス語Ⅲ	2後	2				○								兼1
	中国語Ⅰ	1前	4				○								兼1
	中国語Ⅱ	1前・後	4				○								兼1
	ハングルⅠ	1前・後	4				○								兼1
ハングルⅡ	1前・後	4				○								兼3	
小計 ( 21 科目 )	—	8	50	0	—	—	—	1	1	0	0	0	兼14		
	観光経営概論	1後	2			○									兼1
	地域再生概論	1後	2			○			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	観光関連法規	1・2・3・4後		2		○				1					兼1	
	観光統計	2・3・4後		2		○									兼1	
	日本観光事情	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	世界観光事情	1・2・3・4後		2		○									兼1	
	観光調査法	2・3・4前		2		○									兼1	
	観光文化学	2・3・4前		2		○			1							
	観光コンテンツ論	2・3・4前		2		○			1							
	観光のための数的推理	1・2・3・4後		2		○				1						
	観光まちづくり論	2・3・4前		2		○			1							
	音楽パフォーマンスと地域再生	2・3・4前		2		○			1							
	音楽文化論	2前		2		○			1							
	小計 ( 13 科目 )	—		4	22	0	—			5	2	0	0	0	兼5	
	専門教育科目	コース演習 (観光コンテンツ)	2前		2			○			1					
コース演習 (観光文化)		2前		2			○		1							
コース演習 (観光マーケティング)		2前		2			○								兼1	
コース演習 (観光まちづくり)		2前		2			○		1							
コース演習 (観光マネジメント)		2前		2			○								兼1	
観光キャリア・デザインⅠ		3前		2		○									兼1	
観光キャリア・デザインⅡ		3後		2		○									兼1	
外国語文献講読[英語]A		2・3・4後		2			○			1						
外国語文献講読[英語]B		2・3・4後		2			○								兼1	
外国語文献講読[英語]C		2・3・4前		2			○		1							
外国語文献講読[英語]F		2・3・4前		2			○			1						
外国語文献講読[独語]		2・3・4前		2			○								兼1	
外国語文献講読[仏語]		2・3・4前		2			○								兼1	
公務員・観光事業のための一般法 (行政法・民法)		2・3・4後		2		○				1					兼1	
飯田フィールドワーク		1・2・3・4前		2		○			1						兼1	
観光カリスマ論		1・2・3・4前		2		○			1						兼1	
行政作用法		3・4後		2		○									兼1	
行政法総論		2・3・4前		2		○									兼1	
民法〔総則〕		2・3・4後		2		○									兼1	
民法〔債権総論〕		3・4前		2		○									兼1	
民法〔債権各論〕		3・4前		2		○									兼1	
観光ガイド論		3・4前		2		○									兼1	
観光史	2・3・4前		2		○									兼1	集中	
観光韓国語	3・4後		2		○									兼1	集中	
観光中国語	3・4後		2		○									兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	地域観光実習 A	1・2・3・4通		1				○							集中
	地域観光実習 B	1・2・3・4通		2				○							集中
	地域観光実習 C	1・2・3・4通		4				○							集中
	地域観光実習 D	1・2・3・4通		6				○							集中
	海外観光調査実習 (クイーンズランド)	1・2・3・4通		2				○							集中
	海外観光調査実習 (オックスフォード)	1・2・3・4通		2				○							集中
	観光学部インターンシップ A	2・3・4通		1				○						兼 1	集中
	観光学部インターンシップ B	2・3・4通		2				○						兼 1	集中
	観光学部インターンシップ C	2・3・4通		4				○						兼 1	集中
	観光学部インターンシップ D	2・3・4通		6				○						兼 1	集中
	観光学部インターンシップ E	2・3・4通		8				○						兼 1	集中
	観光学部自主演習 C	2前		1				○							
	観光学部自主演習 D	2後		1				○							
	観光学部自主演習 E	3前		1				○							
	観光学部自主演習 F	3後		1				○							
	観光学部自主演習 G	4前		1				○							
	観光学部自主演習 H	4後		1				○							
	専門 基幹 科目	森林レクリエーション論	3・4前		2		○				1				
		地域資源論	2・3・4後		2		○				1				
		観光と宇宙	2・3・4後		2		○			1					
		ビジュアルコミュニケーション	3・4前		2		○			1					
		ミュージアムマネジメント	3・4後		2		○			1					
		Ecomuseum	3・4後		2		○			1					
		Environmental Ethics	2・3・4後		2		○			1					
		Intercultural Communication	2・3・4後		2		○			1					
		Pilgrimage	2・3・4後		2		○			1					
		観光文化地理学	2・3・4後		2		○			1					
		観光デザイン論	2・3・4前		2		○			1					
		観光グラフィックデザイン	2・3・4後		2		○			1					
		観光まちづくりと法	2・3・4後		2		○				1				
		グローバルツーリズム	3・4後		2		○			1					
		日本文化研究	3・4前		2		○			1					
	地域観光情報論	3・4後		2		○			1						
	観光情報発信とネットワーク	3・4後		2		○			1						
	科学コミュニケーション論	3・4後		2		○				1					
	観光と地球	3・4前		2		○				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	景観まちなみ保全論	3・4後		2		○									兼 1
	観光空間設計論	3・4前		2		○									兼 1
	移動と文化	2・3・4後		2		○			1						
	グリーン・ツーリズム論	2・3・4前		2		○			1						
	スローフード論	2・3・4後		2		○			1						
	アーバンツーリズム論	3・4後		2		○			1						
	音楽プロデュースによる地域再生	3・4前		2		○			1						
	観光と音楽	3・4後		2		○			1						
	中心市街地活性化論	3・4前		2		○									兼 1
	都市政策	3・4後		2		○									兼 1
	都市デザイン	3・4後		2		○									兼 1
	生活環境システム	3・4後		2		○									兼 1
	観光社会学	3・4後		2		○									兼 1
	観光メディア文化論	3・4後		2		○									兼 1
	観光政策	3・4前		2		○									兼 1
	地域文化交流論	3・4前		2		○									兼 1
地域調査法	3・4後		2		○									兼 1	
地域表現法	3・4前		2		○									兼 1	
小計 ( 79 科目 )		—	0	168	0	—			9	4	0	0	0	兼 22	
卒業論文・ 専門演習	専門演習Ⅰ	2後	2				○		10	4					
	専門演習Ⅱ	3通	4				○		10	4					
	卒業論文	4通	4				○		10	4					
	小計 ( 3 科目 )		—	10	0	0	—			10	4	0	0	0	兼 0
合計 ( 231 科目 )		—	28	459	0	—			10	4	0	0	0	兼 189	
学位又は称号	学士 (観光学)	学位又は学科の分野				経済学関係									
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
<b>基礎教養科目 44単位</b>						1学年の学期区分						2	期		
教養科目・教養科目 28単位						1学期の授業期間						15	週		
外国語 16単位						1時限の授業時間						90	分		
<b>専門教育科目 80単位</b>															
専門基礎科目 14単位															
専門基礎科目 28単位選択必修															
専門基礎・基幹科目 28単位選択必修															
専門演習・卒業論文 10単位															
<b>合計 124 単位</b>															

授 業 科 目 の 概 要			
(観光学研究科観光学専攻博士後期課程)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
授業科目	観光学研究方法論演習	<p>(概要) 多様な分野の教員による問題提起の中で、多様な分野からの観光学研究へのアプローチについて学修するとともに、学生自身が研究の進捗状況を発表する機会をそれぞれ3回持ち、ディスカッションする。</p> <p>(オムニバス方式/全15回)</p> <p>(1 山田 良治/1回) 社会科学としての観光学のあり方を景観形成論を材料に指導する。</p> <p>(2 尾久土 正己/1回) 映像の観光行動への影響を正しく評価するためには、視点移動計測などの人間工学的な手法を理解する必要がある。そこで実際の視聴実験を体験し、それらの議論を行う。</p> <p>(3 加藤 久美/1回) 環境倫理学・サステイナブルツーリズム論を中心に指導する。</p> <p>(4 神田 孝治/1回) 観光を理解するには、「空間」と「文化」という2つの視座が重要である。こうした点に注目した観光文化地理学の議論を紹介し、観光現象を考察する際の視座について検討する。</p> <p>(5 竹鼻 圭子/1回) 観光に伴う異文化コミュニケーションは、言語を媒介とするしなやかにかかわらず、「翻訳」行為と考えられる。観光諸相の説明原理として、「同化・異化翻訳」の概念を考察する。</p> <p>(6 廣岡 裕一/1回) 観光経営学・観光事業論の立場から現実の観光業の経営、運営の実務を、理論的に論じる場合の指針を与える。</p> <p>(7 藤田 武弘/1回) 農山村地域再生に資するグリーン・ツーリズムの意義について指導する。</p> <p>(8 堀田 祐三子/1回) 空間づくりやアーバンデザインの観点から、観光空間としての都市とその創造・管理主体のあり方について考察・議論する。</p> <p>(9 遠藤 英樹/1回) 観光社会学の視点から現代の観光現象の分析方法を指導する。</p> <p>(10 吉田 道代/1回) 景観問題などに論究しながら、社会的マイノリティの視点から観光を捉える。</p> <p>(1 山田 良治・2 尾久土 正己・3 加藤 久美・4 神田 孝治・5 竹鼻 圭子・6 廣岡 裕一・7 藤田 武弘・8 堀田 祐三子・9 遠藤 英樹・10 吉田 道代/5回) (共同) ガイダンス及び学生による研究計画の発表、研究進捗状況の発表と討論を行う。</p>	オムニバス方式・共同 (一部)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究 指導 科目	特別研究	<p>(概要)</p> <p>&lt;1年次&gt;  (前期)主として依拠しようとする学問分野のメソドロジー及び研究テーマに関連した既存研究をサーベイし、これらを前提として研究計画を含む2万字以上のレビューレポートを作成する。  (後期)期間の前半においては、主として主分野との関係についての認識を高める観点から副分野に関する文献サーベイを行い、1万字以上のレビューレポートを年末までに作成・提出できるよう副分野指導教員を含めたチーム研究指導を行う。  期間の後半においては前期作成のレビューレポートを副分野のレポートと統合し、チーム研究指導の下、改めて今後の研究の土台とするための3万字以上の総括レポートを作成する。</p> <p>&lt;2年次&gt;  副分野指導教員を交えてチーム形式を主とする研究指導を行う。研究の進捗状況を定期的に報告し、必要な場合には計画の修正を含め、研究計画に沿った着実な研究の発展に導く。この際、研究スタイルについてはもっぱら主メソドロジーを基盤とするものから、複数メソドロジーを基盤とした学際的なものまで、多様なアプローチが考えられ、それらに応じてチーム研究指導も柔軟なスタイルが考慮される。ただし、いずれにしてもチーム指導であることの特質を活かして、学際的なアプローチに配慮した研究の進展を導き、少なくとも1本の論文を書くことと並行して、学位論文のテーマを最終的に確定できるよう指導する。</p> <p>&lt;3年次&gt;  引き続きチーム形式を主とする研究指導を行う。研究の進捗状況を定期的に報告させ、より洗練された研究計画に沿った着実な研究の発展に導く。2年次までとは異なり、この時期には博士論文の完成を念頭においた研究成果を出すことを目標とし、論文のさらなる質の向上を図る。</p> <p>(1 山田 良治)  観光は空間の移動を伴う。都市や農村の空間の具体的なあり方は、各種インフラや施設の建設などの開発行為によって形作られるため、観光資源としての空間の魅力の変化は開発及び保全のあり方に強く左右される。この場合、開発及び保全という行為は、しばしば多様な所有主体からなる集合空間を対象とすることから、「公共性」を介した関係者の合意形成が特別に重要な役割を演じる。こうしたプロセスの研究を主たる課題とする中で、「景観形成と公共性」「観光商品化の特質」「観光の発展と空間認識」などの研究題目による研究の深化を通じて、博士論文の作成を導く。</p> <p>(2 尾久土 正己)  観光は一般的には人の移動を伴うものを対象にしているが、その行為のきっかけにはテレビや雑誌などの映像コンテンツが大きな役割を演じている。また、実際に移動を伴う観光という行為に至らなくても、世界各地の世界遺産などに憧れて、ビデオや写真集を購入することも広い意味では観光の中に含まれるべきである。そこで、観光地を超臨場感映像システムでリアルに再現したり、今はまだごく一部の富裕層しか行くことのできない宇宙観光を仮想体験するなど、移動を伴わない観光行為について研究する。想定される研究題目は「超臨場感映像の観光への応用」や「宇宙観光のシミュレーション映像」などである。</p> <p>(3 加藤 久美)  「環境と文化」「地域文化と環境持続性」等をテーマとする学生に対し、人文環境学、環境倫理の視点に立った研究を指導。今日の社会活動全てに求められる「環境への配慮」、「環境責任」、さらに「文化と環境の深い相互関係」を前提に、地域文化とサステナビリティをグローバルな視野に立って研究していく。国内外の様々な先行研究に基づいたグローバル性、広い学際領域にわたるインターディシプリン性、独自の視点を生かしたオリジナル性ある研究をめざし、国際的な学会、論文発表の機会も積極的に持つ。想定される主な研究題目は「環境責任ある観光」「無形文化と環境持続性」「資源利用の倫理」「環境アクティビズムと文化」などである。</p> <p>(4 神田 孝治)  観光現象を「空間論」ないしは「文化論」的アプローチから研究する学生に対して、文化地理学における議論を土台とし、以下のようなプロセスを経て、博士論文を完成させるまでの徹底的な指導を行う。(1)国内外の先行研究の収集と検討を実施させ、独自の課題設定を行わせると同時に専門領域における研究の位置付けを明確にさせる。(2)調査の方法・対象および分析方法の設定について指導し、調査・分析を実施させる。(3)そうして得られた結果を、全国規模の査読付学術誌を中心に論文として投稿させ、成果を公表させる。(4)かかる論文を整理・統合させて高い独自性を有する博士論文として完成させる。想定される研究題目は、「観光空間の生産過程と地理的理想力」、「観光と感情の文化空間論」、「移動現象としての観光と近現代社会」などである。</p>	



科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究 指導 科目	特別研究	<p>(5 竹鼻 圭子) 観光は様々なフェイズの異文化接触を伴う。あるいは、観光の重要なファクターである「非日常性」は取りも直さず、ある種の異文化接触を意味する。最近の翻訳研究では、「文化翻訳」という概念を得て、異文化間の意味解釈全てを包含する取り組みに発展してきている。一方で、翻訳研究の言う「同化・異化」の問題は、我々の位置する東洋と西洋の関係性を反映する概念としても研究されてきたが、これは、観光分野の言説にみられるオリエンタリズムとその新しい展開を包含して説明できる概念でもある。また、観光形態の諸相の説明原理としても捉えることができる。このような翻訳論に関係する諸分野の研究を深化し、博士論文作成まで指導する。研究題目としては「観光と文化翻訳」「日本文化の翻訳の特性」「同化・異化翻訳とオリエンタリズム」「翻訳論から見た異文化交流」等が想定される。</p> <p>(6 廣岡 裕一) 観光を対象とした研究は、さまざまな学問分野においてなされているが、現在のところ、その体系が構築されたとの合意は得られていない。しかし、ある観光現象が異なった複数のディシプリンからアプローチされ、一定の成果が得られたとしても、異なったディシプリンから得られた答えをいかに融合させるかが、問題となる。したがって、ひとつのディシプリンの中で説明だけでは満足できない場合、複数のディシプリンを融合させて、いかに答えを求めるかが問題となる。このような問題意識のもとに、対象となるテーマを複眼的に分析、研究し、問題解決に導く博士論文の完成を目指す。具体的な研究題目としては、担当教員の研究対象である「旅行業」「旅行」にかかわる各種問題や「観光産業」「観光政策」に関する各種問題をあげることができる。</p> <p>(7 藤田 武弘) 「農山漁村の地域再生」や「都市と農村の関係性修復」、「グリーン・ツーリズム」を主要な研究テーマとする学生に対して、①関連研究領域における先行研究の整理、②独創的な課題設定と問題関心の深化、③調査対象フィールドの選定と研究方法の確定、④実態調査の実施と収集データの分析・考察、⑤経過的研究成果の社会還元（調査対象フィールドでの現地報告会ならびに学会報告・論文投稿）、⑥博士論文（予備論文）の執筆、等のプロセスを経て、博士論文の完成に導く。想定される主な研究題目は「農商工連携による地域再生」、「日本型グリーン・ツーリズムの社会的意義」、「都市と農村の連携・協働」、「企業CSRと農山村再生」などである。</p> <p>(8 堀田 祐三子) 地域のステイクホルダを主体とする地域生活空間の再生・創造と観光との関係性をテーマとした研究を行う。日本の地方都市や主として欧州の中小都市における地域生活空間の再生・創造の取り組み等を事例分析の対象として、主体の関与と地域空間・観光空間の形成プロセスの分析を重視する。想定される研究題目は、「持続可能な都市のあり方と観光開発」「都市景観の形成プロセスと観光まちづくり」「アーバンツーリズムの展開とアーバンデザイン」などである。</p> <p>(9 遠藤 英樹) 観光という視点から現代社会を読み解いていく学は今後、人文・社会科学において、ますます重要なものとなる。このことをふまえ、社会学を主要なディシプリンとして観光という現象にアプローチし、観光現象を軸心として社会や文化のあり方について徹底的に考え抜くための指導を行う。具体的には、(1)これまでの人文・社会学的なディシプリン、中でも特に社会学的なディシプリンについて深く学び、(2)自らのテーマに関連する先行研究の検討を徹底して行い、(3)調査に関する議論や方法をふまえたうえで調査を計画・実施し、(4)学会査読誌等の学術誌に積極的にアプライし、(5)独自性の高い博士論文を完成してもらおう。想定される研究テーマは、「観光的リアルと観光的フィクション」「観光現象において交差するグローバル/ローカル/ナショナル」「観光的なフレームのもとで呈示される文化のあり方」「観光における遊び」等である。</p> <p>(11 海津 一朗) 観光資源としての価値を発見するためには、歴史的な景観についての深い洞察力が必要になる。世界文化遺産の「紀伊山地の霊場と参詣道」を手がかりにして、紀州の宗教的な世界観にもとづく景観が、どのような歴史的な文脈の中で形成されてきたのかについて分析したい。熊野参詣をはじめとする紀伊半島霊場への信仰は、実は中世惣国の時代に（元寇から倭寇・南蛮インパクトに至る）対外関係のなかで作りだされた中世の所産である。「伝統」「民族」「文化」の語に寄りかかることなく、歴史学の方法にもとづいて文化財・文化遺産の扱いを正しく学ぶことから始めたい。これを前提として、一定エリアの観光資源を保全していく方法として、「フィールドミュージアム」の可能性を考える。博士論文には、各自が具体的なフィールドミュージアム作りをイメージして取り組んでもらう。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	特別研究	<p>(12 足立 基浩) ヨーロッパや他の先進国と異なり、日本の中心市街地の衰退は激しい。中心市街地問題は、空間を分析対象としているので、経済学、社会学、政治学、地理学、土木工学、都市計画など多様な側面からの検討が必要である。ここでは主に経済学、経営学的な側面を重視し、「商業空間としての中心市街地問題」「観光地としての中心市街地問題」「持続可能な都市空間としての中心市街地問題」などの研究題目による研究の深化を通じて、博士論文の作成を導きたい。</p> <p>(13 王 妙発) 「観光文化」あるいは「文化観光」を中心とする授業内容である。「文化観光」とは観光客が観光地で「文化」関連の施設や年間行事などを見学・参与する形でその地域の歴史・伝統・宗教を体験し、その「文化」の中身・地域的な特徴を理解し、また自らの「文化」との異同点を吟味することによって、様々なタイプの人間社会の成り立つに対する認識を深化させることが可能になる。例えば、世界各地では新年を迎える行事は様々で、同じ東アジアでも日本・中国・韓国・東南アジア・モンゴル高原での「正月」を迎える形がそれぞれ文化的・地域的な特徴を持ち、欧米各地でのクリスマスを過ごす習慣もそれぞれ文化的・地域的な特徴を持つ。それらの共通及び相違を観光学の角度より学術的に探求する価値があるはずである。文献的・理論的研究にとどまらず、博物館など施設の見学や遺跡地調査及び民間行事の参与など実験的な講義も研究を進展させる一環で、学生の研究分野・研究テーマによって、それぞれの指導を行う。</p> <p>(14 辻本 勝久) 観光は、観光資源や観光客と、それらを結びつける交通がなくては成立し得ない。この意味で交通は観光の3大構成要素の一つとも言える。 観光学に関連する交通面からの研究課題としては、観光交通需要の予測や分析、運賃・料金・その他のサービス水準といった交通供給面からの分析、交通市場を取り巻く規制や補助制度の変容（たとえば航空市場の自由化）と観光地への影響の分析、交通基盤整備の計画と評価および財源調達方法の考察、交通が環境・社会・経済に及ぼす各種の影響をふまえた持続可能型観光交通政策の提示、観光振興に向けた鉄道・バス・道路・航空・水運等の各分野ごとの政策や総合交通政策のあり方、交通手段維持のための地域住民・行政・経済界・交通事業者等の連携のあり方等を挙げるができる。このように観光学に関連する交通面からの研究課題は多岐にわたるが、この演習では、社会的要請や国内外における交通研究の動向等をふまえて受講者の研究を深度化し、「地方鉄道の観光資源化と民産官学連携」「高速交通網の発展と地域の観光振興戦略」「観光地における交通バリアフリー化施策の評価手法」といった題目での研究を進め、博士論文の作成へと導く。</p>	